

仙台市帰国・外国人児童生徒等教育支援事業 成果イメージ図

仙台市教育委員会

仙台市の現状と課題

○児童生徒

- ・在留外国人の増加に伴い、帰国・外国人児童生徒等の増加、及び多国籍多言語化が顕著になっている。
- ・帰国・外国人児童生徒等の転出入が一部地域に集中している一方、これまで受け入れ実績のない周辺地域も増加傾向にある。

○指導体制

- ・日本語指導の初期指導を各学校で行っているため、受け入れ態勢の違いによる日本語指導の内容や方法にばらつきがある。

対応方針

- ・日本語指導の充実に向けた体制の強化
- ・日本語指導教員の研修及び情報交換の場の設定
- ・児童生徒が学校生活に順応するための支援

- 日本語指導が必要な児童生徒への指導協力者派遣
- 仙台観光国際協会（SenTIA）によるコーディネーター派遣
- 日本語指導担当者研修の実施
- 自動翻訳機の貸与

事業効果

○日本語指導が必要な児童生徒への指導協力者派遣

- ・指導協力者の支援により、支援体制の充実が図られ、帰国・外国人児童生徒等の学校生活や学習に対する不安の解消につながる。

○仙台観光国際協会（SenTIA）によるコーディネーター派遣

- ・専門家からの助言を受けることで、児童生徒個々の実態を見極めたうえで、円滑な受入れ、及び指導体制の充実を図ることができる。
- ・帰国・外国人児童生徒等を受け入れたことがない学校における円滑な受入体制が構築できる。

○日本語指導担当者研修の実施

- ・「特別の教育課程」を編成している学校において、個別の指導計画に基づいた指導ができる。
- ・日本語指導担当教員だけでなく、日本語指導が必要な児童生徒の在籍学級担任や指導協力者等が連携しながら適切な指導や支援を行える。

○自動翻訳機の貸与

- ・帰国・外国人児童生徒等が自動翻訳機を活用することにより、母語での意思疎通が可能となり、児童生徒が早期に安心して学校生活を送ることができる。
- ・保護者との面談等での言語による負担の軽減が図られる。